

令和7年度
「BLUE ECONOMY EXPO@Suruga Bay」
開催報告



**BLUE
ECONOMY
EXPO**
@Suruga Bay

一般財団法人マリンオープンイノベーション機構

【開催概要】

事業名	BLUE ECONOMY EXPO @ Suruga Bay
開催日時、 開催内容 及び開催会場	■海の未来会議@駿河湾 日時：令和7年7月25日（金）～7月26日（土） 会場：グランシップ中ホール・大地 内容：国内外から集結した有識者たちによる海洋経済（ブルーエコノミー）に関する国際会議を開催しました。 ※グランシップ大ホール・海で行われた「TECH BEAT Shizuoka 2025」と併催 ■海のEXPO@駿河湾 日時：令和7年7月28日（月）～7月29日（火） 会場：清水マリンターミナル2階 多目的ホール 清水マリンビル1階 多目的ホール 内容：多種多様な海洋産業が一堂に会した展示会が行われ、「海洋」に関する技術や情報を発信いたしました。
同時開催イベント	■Ocean Biz 2025 IN SHIZUOKA
主催	一般財団法人マリンオープンイノベーション機構
共催	静岡県、静岡市、静岡商工会議所（新産業開発振興機構・海のみらい静岡友の会）、超スマート社会推進コンソーシアム スマートオーシャン イニシアティブ、デロイト トーマツ コンサルティング合同会社
協賛	フジ物産株式会社、鈴与株式会社、清水コンテナターミナル株式会社、株式会社天野回漕店、株式会社東京久栄、アオキトランス株式会社、清和海運株式会社、ORNIS株式会社、沖電気工業株式会社、一般社団法人日本水中ドローン協会
後援	内閣府総合海洋政策推進事務局、文部科学省、水産庁、国土交通省
来場者数	延べ2,709名（4日間合計※ただしOceanBiz2025を除く）

**ご来場いただき誠にありがとうございました。
ご参加いただきました皆様、ご協力いただきました皆様に
深く感謝申し上げます。**

PROGRAM

7.25(金) 10:40-17:00

10:40 開会セレモニー Opening Ceremony

11:10 基調講演 **Keynote**
国内外のブルーエコノミーの展望
Prospects for the Blue Economy at Home and Abroad

Charting Japan's Course to Realize the Regenerative Blue Economy Opportunity
King Abdullah University of Science and Technology(KAUST)
Prof. Carlos M.Duarte

- **ブルーエコノミーと海洋DX推進に向けた国内外の現状**
公益財団法人 協川平和財団 理事長 角南 麗 氏

11:55 セッション1 **Session 1**
【パネルディスカッション】
ブルーカーボンビジネスの現状と課題対応に向けて

[Panel Discussion]
The Current State of the Blue Carbon Business and Tward Addressing Challenges.
◆株式会社ILLUABLE 取締役 西川 暢子 氏
◆King Abdullah University of Science and Technology(KAUST)
Prof. Carlos M.Duarte

- ◆静岡県 副知事 平木 省 氏
- ◆静岡市長 難波 壽司 氏
- ◆株式会社しずおかフィナンシャルグループ 執行役員 最高イノベーション責任者 大塚 毅典 氏
- ◆モデレーター マリノアープイノベーション機構 研究員 五條 聖 氏

14:00 セッション2 **Session 2**
国内外のブルーエコノミーの進展
Developments in the Blue Economy at Home and Abroad

Beyond Uncertainty:
A Trans-Pacific Blueprint for Ocean Innovation and Security
Executive Director, TMA BlueTech, USA Matt Classen 氏

海とともに生きるフィヨルドの国ノルウェー：
ブルーエコノミーと未来への共創
ノルウェー大使館 通信技術 マーケットアドバイザー 山本ハンセン・アネット 氏

海業の推進について
水産庁 海産物振興部 計画・海業政策課 海業振興室長 染川 洋 氏

海洋開発等重点戦略について
内閣府 総合海洋政策推進事務局 局長 舟本 浩 氏

- **Navigating New Horizons: City of Moreton Bay's Journey into the Blue Economy**
Mayor, City of Moreton Bay Councillor Peter Flannery 氏

Blue Economy Development, Maritime Policy,
and Blue Carbon initiatives: The Malaysian Case
Research Fellow & Head, Centre for Straits of Malacca
Maritime Institute of Malaysia (MIMA) Cheryl Rita Kaur 氏

- **State and Challenges of the Marine Industry & Blue Economy in the Marshall Islands: Spotlight on MIMRA, CMAC & Reimaanlok**
Deputy Director, Coastal and Community Affairs,
Marshall Islands Marine Resources Authority (MIMRA) Florence Edwards 氏

From SDG14 to ESG Ocean Taiwan
Professor in Department of Life Sciences, Director of Marine Biology and Cetacean
Research Center and Deputy Director of University Center
for Bioscience and Biotechnology at
National Cheng Kung University, Taiwan Prof. Wang Hao-Ven

16:50 セッション3 **Session 3**
駿河湾におけるブルーエコノミーの進展
Progress of Blue Economy in Suruga Bay

駿河湾を活かしたブルー・トランスフォーメーション国際拠点
～Fuji Suruga BX PARC (FS-BXPARC) の実現に向けて～
静岡市長 難波 壽司 氏

SSSコンソーシアムが推し進める超スマート社会推進事業2.0
～スマートオーシャンを例に人材育成から新産業の創成へ～
東京科学大学 副学長 阪口 啓 氏

17:30 第1日目閉会 (調評) Closing of Day 1

7.26(土) 9:50-16:00

9:50 第2日目開会 Opening of Day 2

10:00 セッション4 **Session 4**
海の未来を担う若者の取組
Initiatives by Youth for the Future of the Sea

駿河湾探究 Kids & Youthの活動紹介
～駿河湾から未来を拓くヒントを探る～ 駿河湾探海調査と温暖化の影響
～駿河湾の深海生物とロボット海洋教育～

沼津工業高等専門学校 教授 大津 孝佳 氏
静岡市立清水第二中学校3年 土屋 友梨花 氏 / 加藤学園西条中学校 3年 渡辺 優月 氏
島田市立島田第二中学校3年 森 莉緒菜 氏

持続可能な水産業の実現を目指して
～地域と連携した探究活動の実例～
静岡県立沼津水産高等学校 校長 沼田 聖彦 氏
静岡県立沼津水産高等学校 小林 千鶴 氏 / 大江 直 氏 / 片岡 貴音 氏 / 増田 航太郎 氏

深海研究スーパーキッズ育成プロジェクトの挑戦
静岡県産社・静岡放送 アシスタントマネージャー 早川 遼太 氏
静岡市立豊岡中学校3年 沼田 聖彦 氏
深海研究スーパーキッズ育成プロジェクト(海と日本2022)1期生 中平 颯星 氏

13:00 セッション5 **Session 5**
ブルーエコノミーを支える技術の進展とマーケットの期待
Advances in Technologies Supporting the Blue Economy and Market Expectations

(1) 国及び国研究機関の最新の取組
(1) Latest efforts of the national government and national research institutes

準天頂衛星システム「みちびき」の海洋分野での利活用について
内閣府 宇宙開発戦略推進事務局 準天頂衛星システム戦略室 企画官 和田 弘人 氏

「みらいII」とともに海氷の向こう側へ
～JAMSTECが取り組む北極圏～
◆国立研究開発法人 海洋研究開発機構 (JAMSTEC) 理事長 大和 裕幸 氏
◆国立研究開発法人 海洋研究開発機構 (JAMSTEC)
地球環境部門北極圏海氷変動総合研究センター センター長 菊地 隆 氏

海洋大国日本が取り組む水産分野でのブルーエコノミーの推進
国立研究開発法人 水産研究・教育機構 理事長 中山 一郎 氏

ムーンショット型研究開発事業と懸賞金事業の概要
国立研究開発法人 創エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO)
フロンティア部 ムーンショットユニット 青山 智佳 氏

海における次世代モビリティに関する国土交通省の取組
国土交通省 総合政策局 海洋政策課 課長 竹内 聖仁 氏

(2) 大学における先進的な取組
(2) Advanced efforts at universities

生殖幹細胞移植による新規養殖種の創出
東京海洋大学 教授 吉崎 信朗 氏

(3) 産業界の取組と投資サイドの期待
(3) Industry Initiatives and Investment Side Expectations

新たな価値の創造とグローバルサステナブル社会の実現 - IOWN -
NTT株式会社 宇宙環境エネルギー研究所 所長、博士(システム情報科学) 前田 裕二 氏

海洋の見える化を目指すOKIの先端技術
～海洋プラットフォームの実現に向けた取り組み～
沖電気工業株式会社 クロスインダストリー事業推進センター 副センター長 中川 寛崇 氏

ブルーエコノミー市場を拓く通信技術のトレンド
グロイトー マツコンサルティング合同会社 シニアスペシャリスト 輝川 貴幸 氏

「ブルーエコノミーへの期待」
～市場の将来性、意識としてのアプローチ～
株式会社みずほフィナンシャルグループ
サステナブルビジネス部 サステナビリティ・データストラテジスト 大谷 智一 氏

16:10 セッション6 **Session 6**
クロージング
Closing

16:30 閉会 Closing Remarks

■海の未来会議@駿河湾



◆海の未来会議では、2日間にわたり国内外の有識者によるブルーエコノミーに関する発表とディスカッションが行われました。

◆今年度は「TECH BEAT Shizuoka 2025」と併催だったため、TECH BEAT Shizuoka 2025 実行委員長の中西 勝則様から御挨拶をいただきました。



◆駿河湾スマートオーシャン議員連盟の会長を務める衆議院議員 上川 陽子様から御祝辞をいただきました。

◆会議の冒頭で、KAUST Prof. Carlos M.Duarteへの委嘱状授与セレモニーを行いました。



■海の未来会議@駿河湾



◆基調講演では、笹川平和財団 理事長 角南篤様に「ブルーエコノミーと海洋DX推進に向けた国内外の現状」と題してビデオ出演にてご披露いただきました。

◆セッション1は、株式会社BLUABLE 西川様に発表いただき、静岡県副知事 平木省様や静岡市長 難波喬司様、株式会社しずおかフィナンシャルグループ 大塚毅純様などとパネルディスカッションを行いました。



◆「国内外のブルーエコノミーの推進」をテーマに、海外からも多くの方に講演いただきました。
※写真は TMA BlueTech Matt Classen 様

◆東京科学大学 副学長 阪口啓様による「SSSコンソーシアムが推し進める超スマート社会推進事業2.0 ～スマートオーシャンを例に人材育成から新産業の創成へ～」の講演の様子。



海の未来会議@駿河湾



◆海の未来を担う若者たちにも多数出席いただき、現在の取組事例や今後の目標を発表いただきました。

◆「ムーンショット型研究開発事業と懸賞金事業の概要」について発表する 国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO) フロンティア部 ムーンショットユニット 青山 智佳様。



◆会議の講演者、聴講者合わせて2日間で延べ576名の方に御参加いただきました。



海のEXPO@駿河湾 ～清水マリンターミナル会場～



出展者の概要(50音順)

ブース番号	出展名	出展内容
T-38	株式会社ARK	養殖・食品加工
T-25	IMTエンジニアリング株式会社	養殖・食品加工
T-05	愛知水中ドローン事業協同組合	ドローン
T-24	あおみ建設株式会社	海洋土木・水中機器関連
T-09	浅野金属工業株式会社	ドローン
T-31	株式会社イシダテック	水産加工機器
T-20	株式会社ウインディーネットワーク	環境観測・分析
T-26	NTTグリーン&フード株式会社	養殖・食品加工
T-21	オーシャンソリューションテクノロジー株式会社	環境観測・分析
T-37	沖電気工業株式会社	環境観測機器
T-16	ORNIS株式会社 ～海洋レーダーで日本の海を安全で豊かに～	環境観測・分析
T-29	海洋・潮沼スマートバトロールシステム ＝ドローンが見回る、採水する、備える海	環境観測機器
T-35	国立研究開発法人 海洋研究開発機構 (JAMSTEC) 研究・教育	
T-14	広和(株)	ドローン
T-17	三栄ハイテックス株式会社 ～ロボットシナリオシミュレータ～	環境観測・分析
T-23	前・肥・食品原料の専門商社 株式会社 日幸商事	養殖・食品加工
T-04	(株)SeaBreath	ドローン
T-36	JFEアドバンテック株式会社	環境観測機器
T-34	静岡商工会議所 新産業開発振興機構 静岡・海洋実証フィールドプラットフォーム	事業支援
T-13	(株)ジュンテクノサービス	ドローン
T-12	JOHNAN(株)	ドローン
T-15	(株)スペースワン	ドローン

ブース番号	出展名	出展内容
T-07	SOLASTER(株)	ドローン
T-28	大成建設株式会社	海洋土木
T-33	大日工業株式会社	素材・材料
T-22	タキオニッシュホールディングス株式会社	環境観測・分析
T-06	(株)チック	ドローン
T-10	株式会社東京久栄	環境観測・分析
T-32	トーホー工業株式会社	包装・搬送資材
T-30	NACOL株式会社	海洋土木・水中機器関連
T-11	一社)日本水上ドローン協会	ドローン
T-01	一社)日本水中ドローン協会	ドローン
T-18	「日本を資源大国に!」海の恵みを活かし、持続可能な未来を創る。 アングァール株式会社	環境観測・分析
T-27	バイフォトニクス株式会社	ドローン
T-03	福島県	国・地方自治体
T-39	一般財団法人 マリンオープンイノベーション機構	事業支援
T-08	ミサゴ(株)	ドローン
T-19	株式会社MizLinx	環境観測機器
T-02	山口県	国・地方自治体

海のEXPO@駿河湾 ～清水マリニビル会場～



正面玄関側
出入口

出展者の概要(50音順)

ブース番号	出展名	出展内容
M-06	株式会社秋山機械・株式会社エヌエスティー	水産加工機器
P-09	Yellow Duck株式会社	発電
P-12	いであ株式会社	環境観測・分析
P-14	株式会社ウミゴー	情報・サービス
M-18	海とテクノロジーが生み出すスマート海業 ～海の現場から消費者まで～	研究・教育
P-20	株式会社オーシャンアイズ	環境観測・分析
M-19	慶應義塾大学 高橋研究室	環境観測機器
M-20	国立遺伝学研究所	研究・教育
P-02	株式会社さかなドリーム	養殖・食品加工
P-08	静岡県おさかな普及協議会 静岡やさかなプロジェクト	事業支援
M-07	静岡県温水利用研究センター	資源回復
P-07	(公財)静岡県産業振興財団 ウェルネス・フーズ産業支援センター	事業支援
M-04	静岡県水産加工業協同組合連合会	養殖・食品加工
M-17	静岡県立大学	研究・教育
M-10	しずおかコンベンションビューロー (するが企画観光局)	観光
M-15	静岡大学静岡海洋環境研究所	研究・教育
M-08	清水食品株式会社 寒天事業部	バイオ テクノロジー
P-15	第27回ジャパン・インターナショナル・ シーフードショー	イベント
P-06	循環型陸上養殖施設由来サーモン血液の 活用について	研究・教育
M-01	深海研究スーパーキッズ育成プロジェクト in 駿河湾	研究・教育
M-21	国立研究開発法人 水産研究・教育機構	研究・教育
M-02	水産タグ「Bm-Pin/band」 (株式会社 協立)	養殖・食品加工

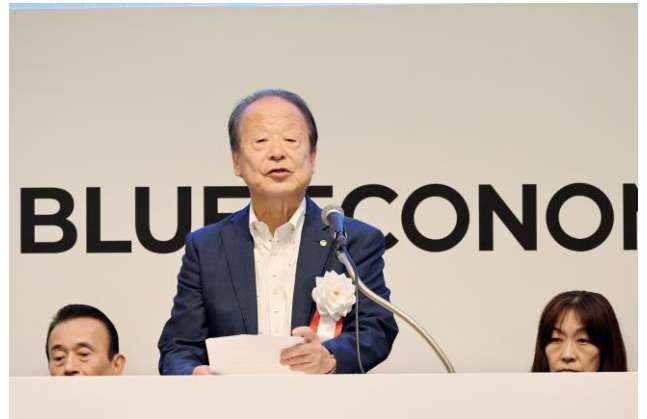
ブース番号	出展名	出展内容
M-14	駿河湾海洋DXプロジェクト	国・地方自治体
P-18	船舶海洋分野のダイナミックマップの研究ー清水港における 岸壁の3Dマップを用いた船舶の彼岸実験(その2)	船舶技術
M-11	ChaOIフォーラム	事業支援
M-16	東海大学静岡キャンパス	研究・教育
M-23	内閣府宇宙開発戦略推進事務局	国・地方自治体
M-05	ニチフリ食品株式会社	養殖・食品加工
P-11	nih'o'ohe合同会社	環境観測・分析
M-22	函館市	国・地方自治体
P-10	発泡ガラスの用途開発	素材・材料
P-16	浜松ホトニクス株式会社	資源回復
P-17	光産業創成大学院大学	研究・教育
M-13	フィッシャリージャーナル	情報・サービス
P-19	株式会社BLUABLE	ブルーカーボン
P-13	一般社団法人BlueArch ～衛星誘導式水中ドローン(ハイブリッドAUV)～	環境観測・分析
M-12	Proximar株式会社	養殖・食品加工
M-09	ホシザキ湘南株式会社	水産加工機器
P-05	北海道大学 産学・地域協働推進機構 産学連携推進本部	研究・教育
P-03	株式会社396バイオ	バイオ テクノロジー
M-03	有限会社山精水産	養殖・食品加工
P-01	横河電機株式会社 / ヨコガワ・イノベーション・スイス	ブルーカーボン
P-04	リージョナルフィッシュ株式会社	バイオ テクノロジー

海のEXPO@駿河湾 ～開会式～



◆開催にあたり、開会式を清水マリ
ンターミナル2階 多目的ホールで執
り行い、共催者の静岡県知事 鈴木康
友様をはじめとする方々に出席いた
だきました。

◆当機構 代表理事の松永是よりご挨拶を申し上げ、当イベントを通じて静岡の地からブルーエコノミーをより一層推進していく決意をあらためて表明しました。



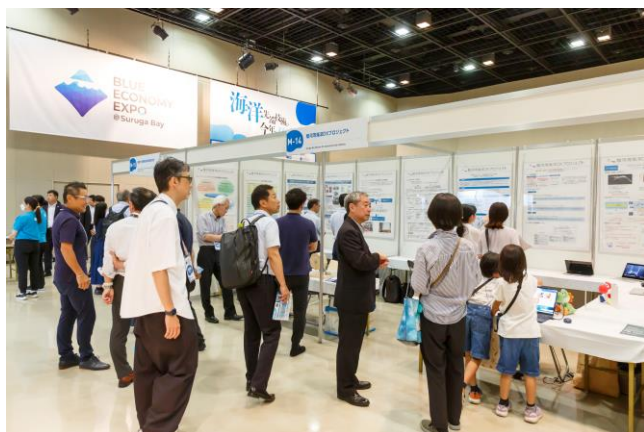
◆第1部 記念講演として、国土交通
省 総合政策局 海洋政策課 課長補佐
永井哲様に、「海の次世代モビリ
ティの更なる社会実装に向けた国土
交通省の取組」というタイトルでご
講演いただきました。

◆第2部 「利用者目線から見た水中ド
ローンの課題～その対応に向けて～」
をテーマに、記念講演に引き続き
国土交通省 永井哲様・東海大学 教授
渡邊啓介様・当機構 専務理事 渡邊
眞一郎によるトークセッションを行
いました。



海のEXPO@駿河湾

◆今年度は、会場を「清水マリビル」「清水マリターミナル」の2会場とし、全国各地からバイオ、ロボティクス、情報・通信などに関わる81の企業・団体様に出展いただき、ブルーエコノミーに特化した展示会を開催いたしました。



海のEXPO@駿河湾

◆海洋DXセミナー

「“海のシゴト”という選択肢－海洋DXで広がる女性活躍の場」と題し、海洋事業の業界で実際に働く女性たちによるパネルディスカッションを行いました。活発な意見が飛び交い、今後の女性活躍推進に向けての取組を前向きに話し合いました。



◆駿河湾・海洋DX研究開発事業化に向けた取組事例発表

駿河湾・海洋DX研究開発事業化コンソーシアムや各分科会のリーダーによる取組事例の発表を行いました。

写真は駿河湾・海洋DX研究開発事業化コンソーシアム 座長 高橋明彦様（左）と静岡大学 情報基盤センター 副センター長・准教授 永田正樹様（右）の発表の様子。



海のEXPO@駿河湾

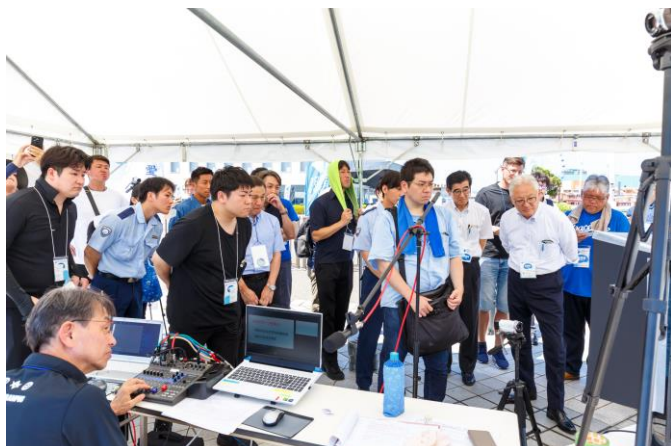
◆ローカルエリアネットワーク会議

清水マリンターミナル会場のステージイベントの最後で「ローカルエリアネットワーク会議」と題し、海洋に関する各自治体の取組紹介や意見交換を実施いたしました。

函館市、福島県、山口県、静岡県、静岡市の担当者にご出席いただき、今後も連携を図っていくことで合意しました。



同時開催イベント



◆Ocean Biz 2025 IN SHIZUOKA

会場に隣接する海域で、水中ドローンのデモンストレーションや操縦体験を実施しました。多くの水中ドローンが実際に海の中で動く様子を観察していただきました。

さいごに

当機構は、2019年の設立以来、海洋関連産業の振興に取り組んでいます。昨年に引き続き、ブルーエコノミーをテーマとするこうした大型イベントの開催は全国的に見ても稀であり、無事に開催することができましたこと、感謝申し上げます。

今後もブルーエコノミーの発展のために活動を続けてまいりますので、どうぞよろしく願いいたします。